

基本目標6 環境教育を通じた環境の人づくり

本県の豊かな自然環境を将来世代へ継承するとともに、限りある資源を有効に活用し、持続可能な社会を形成していくためには、すべての県民が環境とのかかわりについての正しい認識と理解を深め、日常生活や事業活動において自らが率先して環境に配慮した行動を実践していくことが不可欠です。

このため、本県では、本県の環境行政施策の基本計画である「第3次山形県環境計画」において、環境学習・環境保全活動への参加者数を平成32年度までに16万7千人とすることを目標に掲げ、やまがた緑環境税を活用した県民参加の森づくり活動の推進や環境学習支援団体（環境の保全に関する情報の提供や、体験の機会の提供等を通じて、県民の環境学習を支援している民間団体を知事が認定するもの）の認定、環境科学研究センターの利用促進などに取り組んでいます。

こうした取組みにより、環境学習・環境保全活動への参加者数は、平成29年度で16万7千人となり、目標を前倒して達成しています。

1 「山形県環境教育行動計画」の中間見直し

「第3次山形県環境計画」の分野別計画として「山形県環境教育行動計画」を平成25年3月に策定し、学校、地域等幅広い場における環境教育や、環境保全の意欲の増進などに取り組んでいます。

平成30年3月には、施策の進捗状況や、平成29年3月に中間見直した「第3次山形県環境計画」の内容を踏まえ、中間見直しを行いました。

【中間見直しの主な項目と施策の展開方向】

◎環境学習プログラムの整備、活用促進

- ・地球温暖化、ごみ、自然と生き物、水や森林など、身近なものを題材とした、環境NPOとの協働によるプログラムの作成
- ・地球温暖化防止活動推進員等の地域の人材を指導者として派遣
- ・環境学習支援団体等が提供する自然体験学習や再エネ施設の見学などの取入れ
- ・放課後子ども教室、放課後児童クラブ等地域での学習の場に指導者を派遣
- ・地域の森林、里山、施設等の身近な環境資源を活用した体験学習の組み込み



◎「やまがた木育」の推進

- ・平成30年3月に策定した「やまがた木育推進方針」に基づき、森林環境教育を含む「やまがた木育」を展開

◎環境科学研究センターの環境教育拠点機能の充実と利用促進

- ・環境教育に関する相談受付、出前講座、地球温暖化防止活動推進員派遣等の取組みを充実
- ・環境教育を実践している指導者、民間団体等の環境教育内容の収集・整理（データベース化）・提供
- ・県の広報誌やホームページ、フェイスブック等のソーシャル・ネットワーキング・サービス等を活用した情報発信と、学校、放課後子ども教室等への普及活動を実施

2 環境保全活動の顕彰

(1) 環境やまがた大賞

地球環境や地域環境に関する活動において、功績のあった個人又は団体（企業を除く。）を知事が顕彰するものです。

【平成29年度受賞団体】

◆環境やまがた大賞：東沢ホタルの会（山形市）

…ホタルの飼育、幼虫の放流及び河川清掃等生息環境保全を通し、長期にわたりホタルの里づくりに取り組むとともに、ホタルの発生状況、気温、水温等の記録管理を継続して行っています。

また、地元小学校においてホタル講座を開催し、ホタルの生態や地域の自然環境を保存・継承することの大切さを学ぶ機会を提供しています。

◆環境やまがた奨励賞：手ノ子区協議会里づくり推進委員会さんさん部会（飯豊町）

…荒廃して原野化した元採草地を有効活用するため、サクラをはじめとした多様な樹木を植栽し、町民の憩いの場となる里山「八幡山桜（はちまんやまはな）の森」の整備を行うとともに、地域の人に里山の機能と住民生活の関係についての重要性を学習する機会を提供しています。



東沢ホタルの会
（地元小学校におけるホタル講座）

(2) 環境保全推進賞

県内の企業又はその従業員の先駆的な環境保全の取り組みや地域貢献の取り組みを山形県環境保全協議会が顕彰するものです。

【平成29年度受賞団体】

◆山形県知事賞：

株式会社いそのボデー（山形市）

株式会社ニューテックシンセイ（米沢市）

◆環境保全推進賞：

ソーラーワールド株式会社（天童市）

東北日本ハム株式会社（酒田市）

◆選考委員特別賞：

庄内環境マネジメント研究会（庄内地区）



環境保全推進賞受賞者のみなさん

3 山形県環境科学研究センターの取り組み

○ 環境科学研究センターにおいては、環境モニタリング、試験研究、人材育成等の機能とともに、環境教育拠点施設として、県民による自主的で活発な環境保全活動が展開されるよう施設・設備を開放し、親子で楽しむ環境科学体験デーや夏休み親子科学教室を開催するとともに、環境教育教材の貸出し、出前講座、環境アドバイザー等の派遣、水生生物調査への参加呼びかけ等を通じて環境意識の醸成を図っています。

(1) 環境教育

環境教育に関する相談窓口の設置、環境情報・自然環境棟における環境関連の図書やDVD等の展示・貸出、体験学習の支援など

《環境情報・自然環境棟開放時間》 平日の午前9時～午後5時

(2) 環境教室

学校、団体、放課後子ども教室・放課後児童クラブなどを対象とした出前講座の実施

【平成29年度実績】68回（2,136名参加）

《講座例》ペットボトルリサイクル工作、水生生物調査



環境教室の様子

(3) 環境アドバイザー等の派遣

環境、エネルギーに関する専門的な知見を有する環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員の派遣

【平成29年度実績】68回（2,674名参加）

《講座例》地球温暖化、リサイクル、水生生物、ネイチャーゲーム、エコクッキング

(4) 親子で楽しむ環境科学体験デー

環境月間（6月）推進事業の一環として、環境への関心を深めるとともに、環境科学研究センターの業務や施設を県民に知っていただくことを目的に平成15年度から毎年開催

【平成29年度実績】6月25日開催（入場者延べ436名）

《実施内容》

- ◆「スライムをつくろう!」、「手廻し発電体験!」などの実験・体験コーナー
- ◆「センター研究施設見学」、「川の生き物観察」などの展示・見学コーナー



環境科学体験デー

4 環境学習プログラムの整備

- 小学生を主な対象として、室内学習のほか、地域の森林、里山等での体験学習も取り入れながら環境について学ぶ「環境学習プログラム」を、「地球温暖化」「ごみ減量、リサイクル」「自然との共生」の3つのテーマで作成し、教育委員会等に紹介しました。

5 山形県環境学習支援団体の認定

- 環境の保全に関する情報の提供や体験の機会の提供などを通じて、県民の皆さんの環境学習を支援している民間団体を認定し、広く紹介することにより環境学習の機会の拡大を図り、環境保全の意欲増進を図ることを目的として、平成16年度から認定を行っています。
- 平成29年度末現在で、36団体を認定し、県ホームページ等において各認定団体の活動について紹介しました。また、「やまがた環境展2017」にブース出展し、団体の提供する環境学習内容を来場者に体験いただいたほか、活動内容をPRしました。

平成29年度認定団体	主な分野	環境学習の様子と内容
山形県シェアリング ネイチャー協会 (鶴岡市)	自然環境	ネイチャーゲーム（自然体験のためのプログラム）を通して、身近な自然を五感で感じ、自然に関する知識を習得する。 
荘内電気設備株式会社 (酒田市)	エネルギー	大規模太陽光発電設備及び省エネ設備を「見える化」した壁面インフォメーションパネルの見学等により、再生可能エネルギーや省エネについて学習する。 

もっと詳しく知りたい方へ

環境白書の全文は、山形県ホームページで御覧いただけます。

《県ホームページ掲載先》

組織で探す ⇒ 環境エネルギー部 ⇒ 環境企画課
⇒ 山形県の環境白書・環境白書概要版

《URL》

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050015/seisaku/kankyohakusyo.html>

平成30年版山形県環境白書 概要版
山形県の環境

平成31年3月発行
山形県環境エネルギー部環境企画課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号
電 話 023-630-2308
FAX 023-630-2133



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。